

2026年3月期 決算説明資料

2026年5月15日

株式会社ゼネテック

証券コード：4492



目次

- ① 2026年3月期 決算サマリー
- ② 2026年3月期 セグメント別の状況
- ③ 2026年3月期 財政状態および株主還元
- ④ 2027年3月期 業績予想および株主還元
- ⑤ トピックス
- ⑥ 当社事業のご紹介
- ⑦ 会社概要

2026年3月期 決算サマリー

2026年3月期 決算サマリー

決算 ポイント

前期比増収増益、売上・利益ともに過去最高を更新

下期重点施策でSS事業・ES事業の業績伸長
当期純利益が業績予想を上回ったことにより増配

注) SS事業：システムソリューション事業 ES事業：エンジニアリングソリューション事業

売上高	109.8億円	前期比	+28.5億円	+35.2%
-----	---------	-----	---------	--------

営業利益	8.2億円	前期比	+1.2億円	+18.3%
------	-------	-----	--------	--------

営業利益率	7.5%	前期比	△1.0p	
-------	------	-----	-------	--

親会社株主に帰属する 当期純利益	5.1億円	前期比	+0.8億円	+21.2%
---------------------	-------	-----	--------	--------

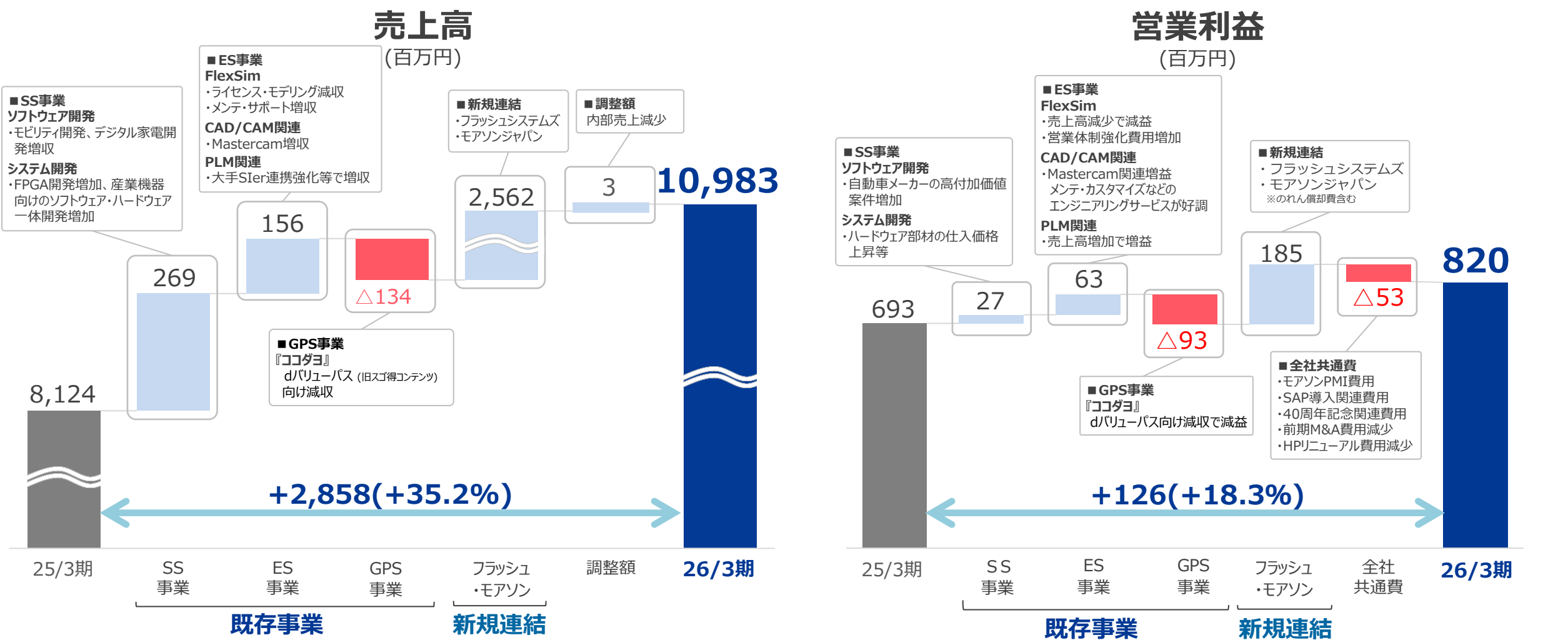
年間配当	22.0円	前期比	+4.0円増	※期初予想より 2.5円増配
------	-------	-----	--------	-------------------

2026年3月期 決算概要

(金額単位：百万円)	2025年3月期 実績	売上比	2026年3月期 実績	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	8,124	100.0%	10,983	100.0%	+2,858	+35.2%
売上総利益	3,271	40.3%	4,147	37.8%	+876	+26.8%
営業利益	693	8.5%	820	7.5%	+126	+18.3%
経常利益	683	8.4%	824	7.5%	+141	+20.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	421	5.2%	510	4.6%	+89	+21.2%

売上高・営業利益の増減要因（前期比較）

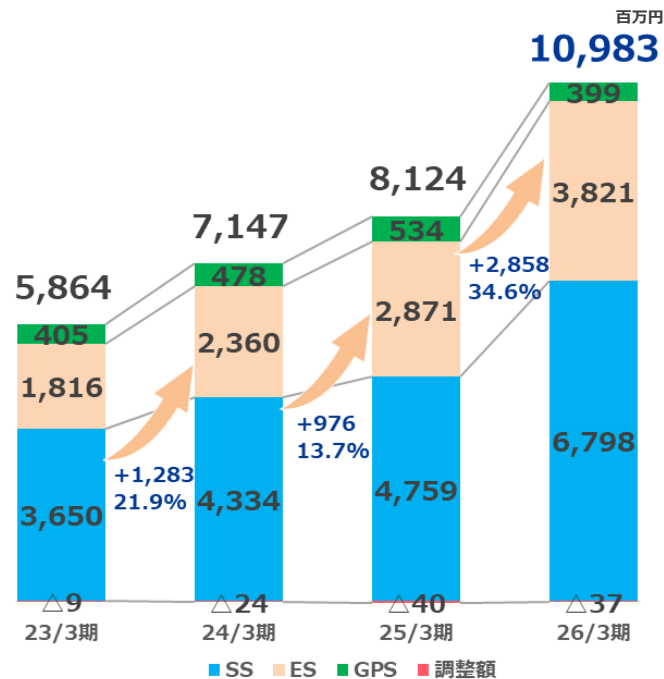
既存事業・新規連結 前期比較



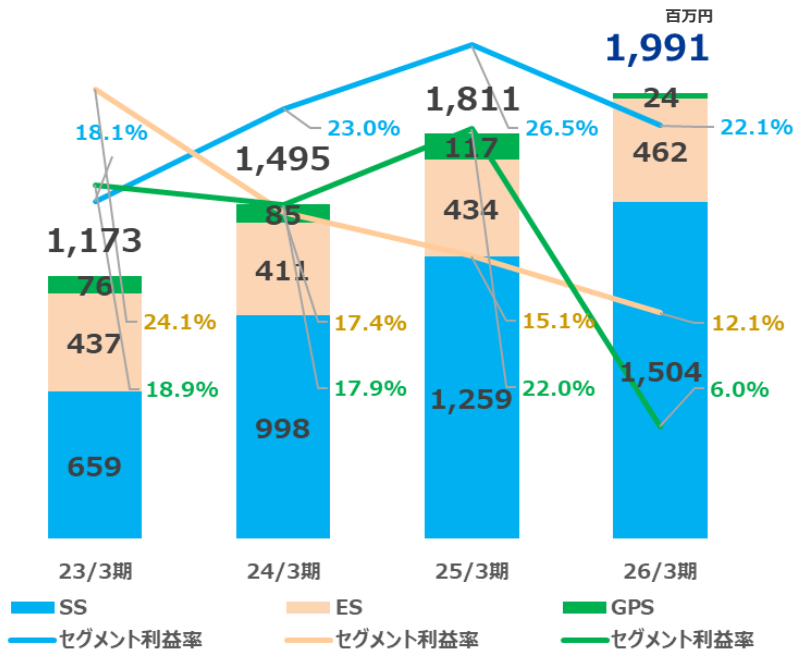
SS：システムソリューション事業 ES：エンジニアリングソリューション事業 GPS：GPS事業

2023年3月期～2026年3月期 セグメント別 通期業績推移

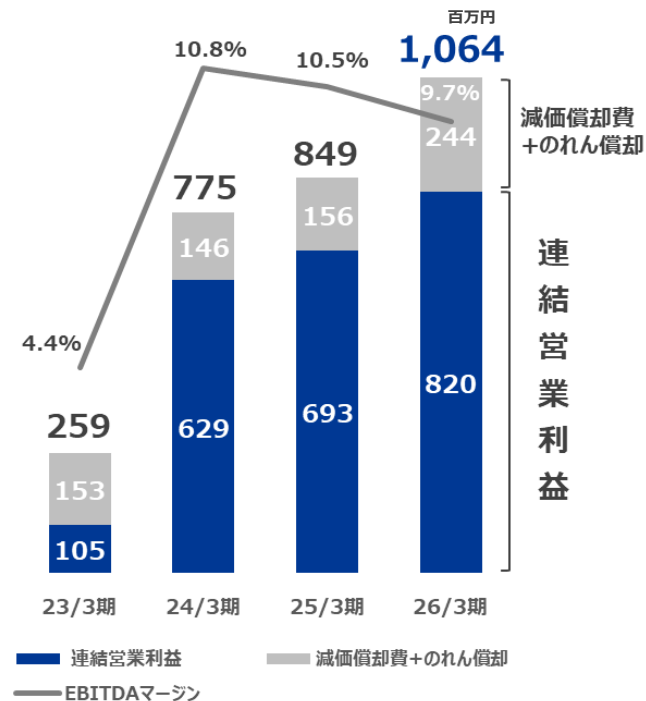
23/3期-26/3期 セグメント別 売上高推移



23/3期-26/3期 セグメント別 利益推移

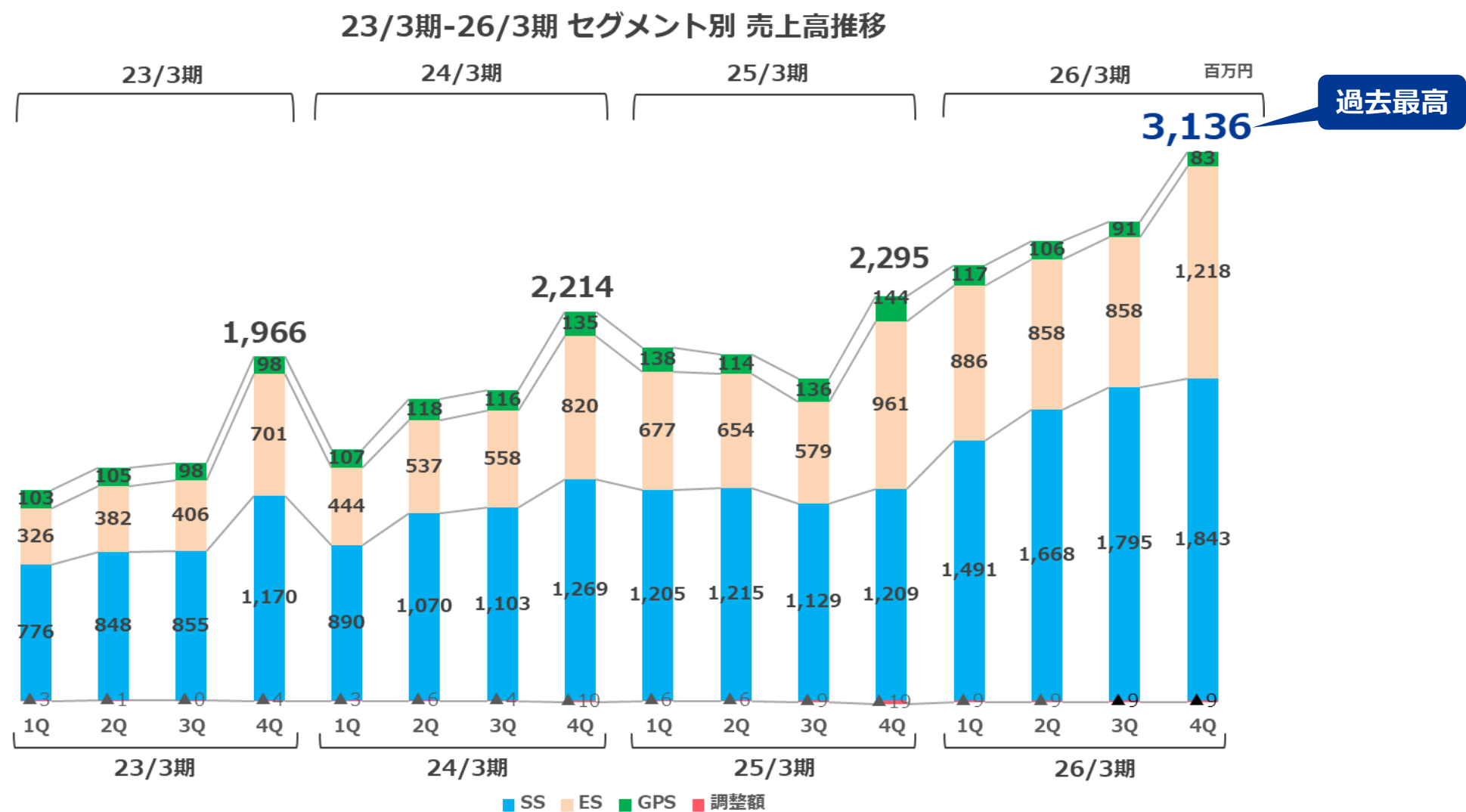


23/3期-26/3期連結営業利益とEBITDA



※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。

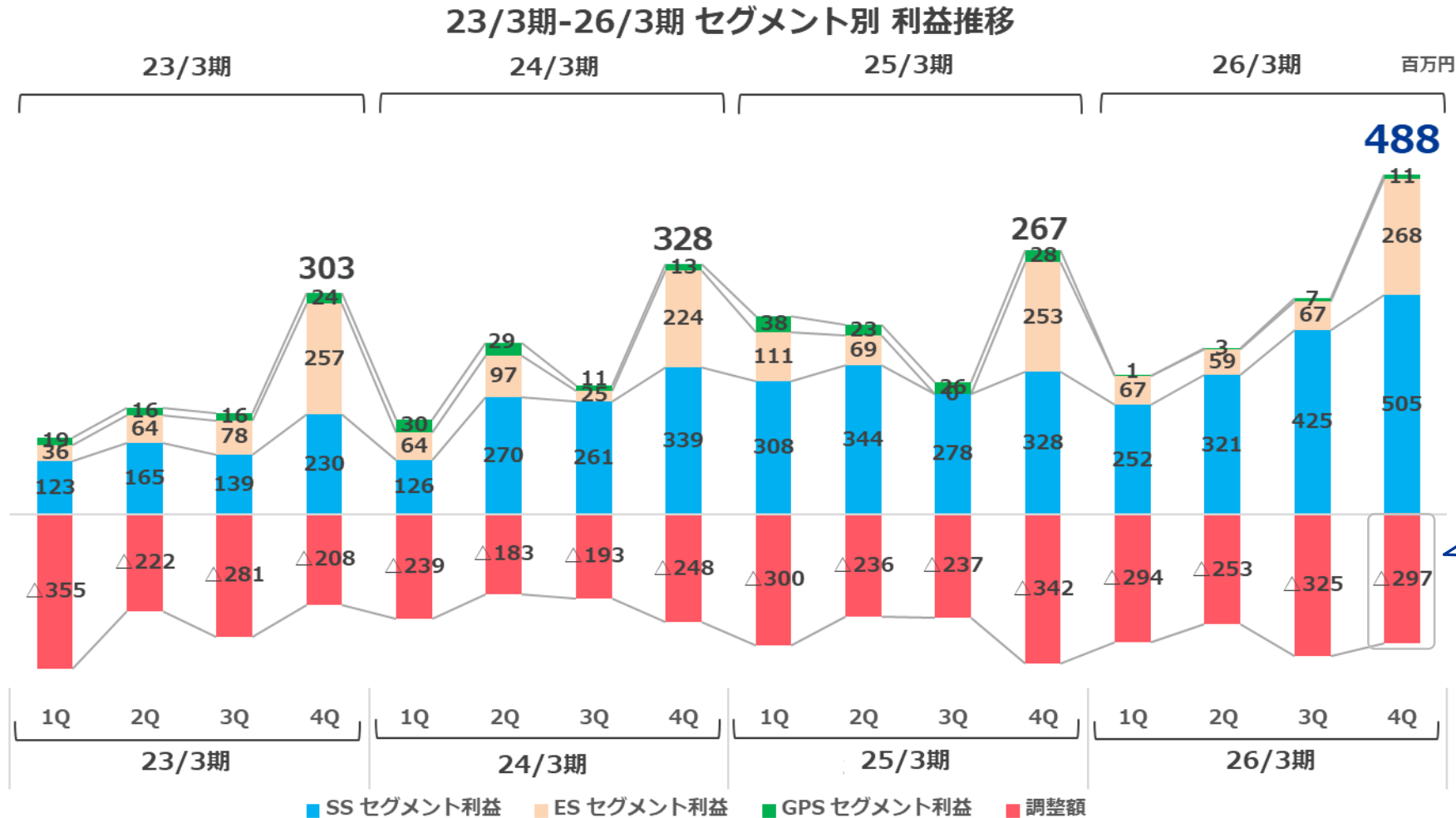
2023年3月期～2026年3月期 セグメント別 四半期売上高推移



※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しています。

2023年3月期～2026年3月期 セグメント別 四半期セグメント利益推移



対今期3Q比△27百万円の主な内容
・当社40周年記念関連費用の減少

対前期4Q比△44百万円の主な内容
・HPIリニューアル関連費用の減少
・M&A関連費用の減少

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しております。
※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2023年3月期～2026年3月期 セグメント別 四半期データ

(百万円)		2023年3月期					2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
連結	売上高	1,203	1,334	1,360	1,966	5,864	1,439	1,720	1,774	2,214	7,147	2,014	1,978	1,835	2,295	8,124	2,486	2,623	2,736	3,136	10,983
	営業損益	△175	24	△47	303	105	△17	214	105	328	629	157	200	67	267	693	27	129	175	488	820
	利益率	△14.6%	1.9%	△3.5%	15.5%	1.8%	△1.2%	12.4%	5.9%	14.8%	8.8%	7.8%	10.1%	3.6%	11.7%	8.5%	1.1%	5.0%	6.4%	15.6%	7.5%
SS	売上高	776	848	855	1,170	3,650	890	1,070	1,103	1,269	4,334	1,205	1,215	1,129	1,209	4,759	1,491	1,668	1,795	1,843	6,798
	利益	123	165	139	230	659	126	270	261	339	998	308	344	278	328	1,259	252	321	425	505	1,504
	利益率	15.9%	19.6%	16.3%	19.7%	18.1%	14.3%	25.2%	23.7%	26.7%	23.0%	25.6%	28.3%	24.6%	27.1%	26.5%	16.9%	19.2%	23.7%	27.4%	22.1%
ES	売上高	326	382	406	701	1,816	444	537	558	820	2,360	677	654	579	961	2,871	886	858	858	1,218	3,821
	利益	36	64	78	257	437	64	97	25	224	411	111	69	0	253	434	67	59	67	268	462
	利益率	11.2%	16.9%	19.4%	36.7%	24.1%	14.4%	18.2%	4.6%	27.4%	17.4%	16.4%	10.7%	0.1%	26.3%	15.1%	7.6%	6.9%	7.8%	22.1%	12.1%
GPS	売上高	103	105	98	98	405	107	118	116	135	478	138	114	136	144	534	117	106	91	83	399
	利益	19	16	16	24	76	30	29	11	13	85	38	23	26	28	117	1	3	7	11	24
	利益率	19.0%	15.8%	16.7%	24.6%	18.9%	28.6%	25.1%	10.0%	9.9%	17.9%	28.0%	20.1%	19.5%	19.9%	22.0%	1.0%	3.3%	8.4%	13.9%	6.0%
調整額	売上高	△3	△1	△0	△4	△9	△3	△6	△4	△10	△24	△6	△6	△9	△19	△40	△9	△9	△9	△9	△37
	利益	△355	△222	△281	△208	△1,068	△239	△183	△193	△248	△866	△300	△236	△237	△342	△1,117	△294	△253	△325	△297	△1,170

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※セグメント変更(EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しております。

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2026年3月期 セグメント別の状況

SS (システムソリューション) 事業

売上高 前期比42.8%増 セグメント利益 前期比19.5%増

- 下期重点施策でソフトウェア開発・モアソンジャパンの業績改善、システム開発はFPGA・新規開発で増収も部材価格上昇等で前期比減益
- 既存事業セグメント利益率 3Q累計:23.9% → 通期:24.6%に改善
- SS事業全体セグメント利益率 3Q累計:20.2% → 通期:22.1%に改善 (前期26.5%)

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

ソフトウェア開発

既存事業

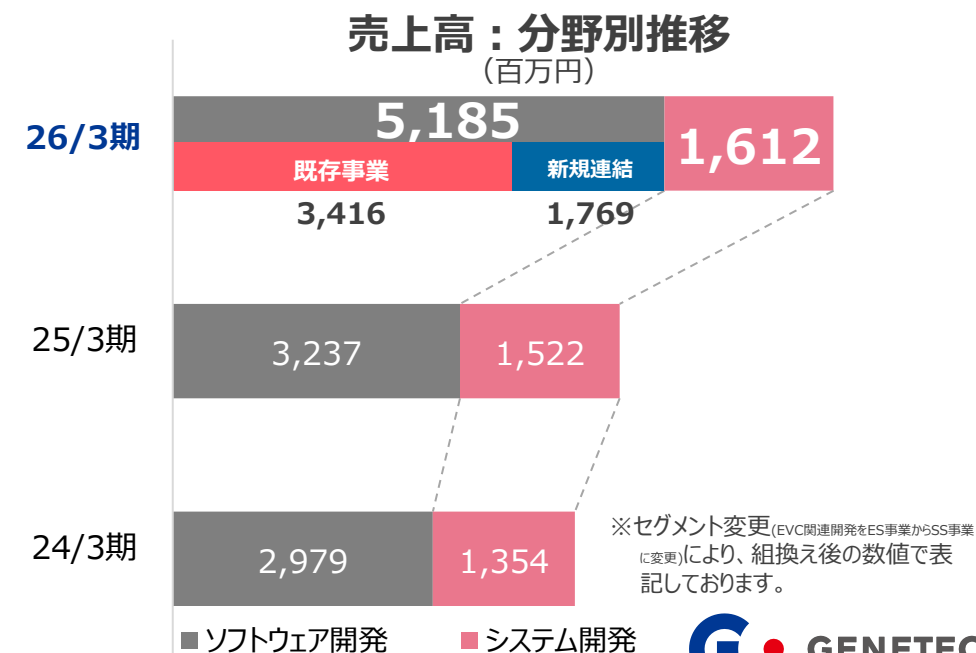
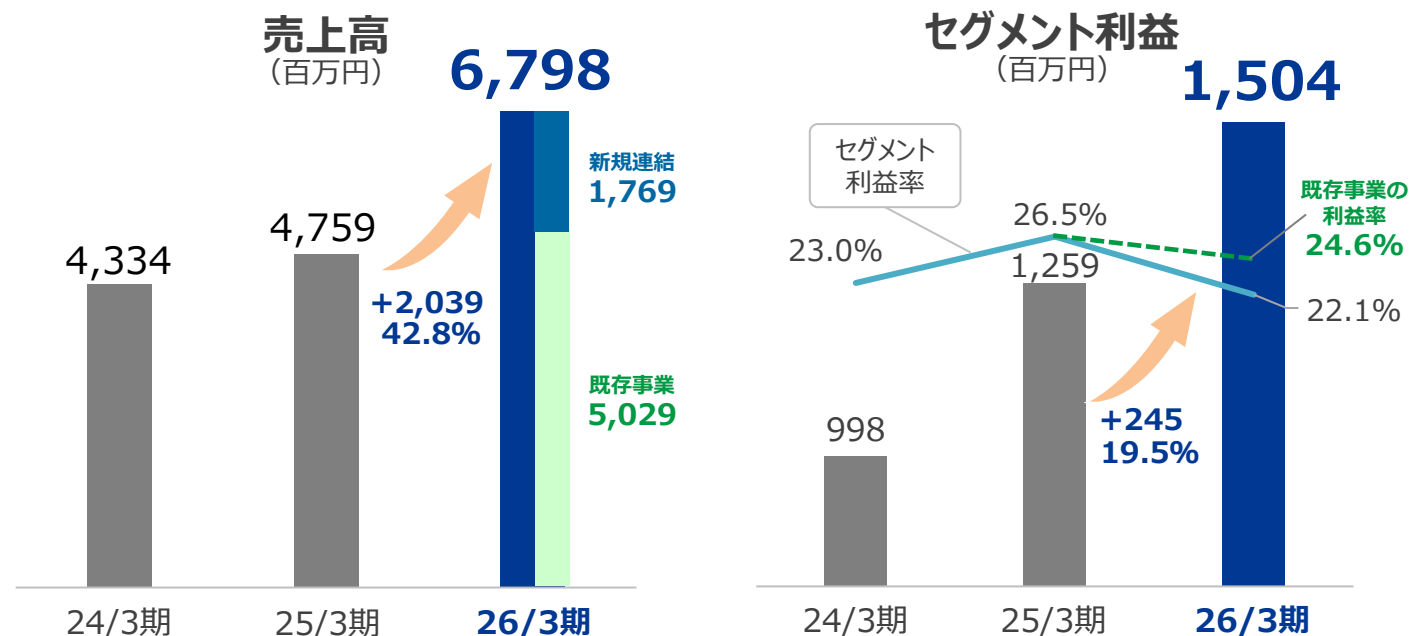
：モビリティ開発において自動車メーカーの高付加価値案件が増加、Tier1企業の開発案件継続、鉄道車両のソフトウェア開発、デジタル家電などの組込系ソフトウェア開発が拡大し増収

新規連結効果

：モアソンジャパンのデジタル楽器、産業用ロボット制御、放送局向けソフトウェア開発など。

システム開発

：下期重点施策のFPGA開発、産業機器向けソフトウェア・ハードウェア一体開発の新規開発で増収
ハードウェア部材の仕入価格上昇等で減益



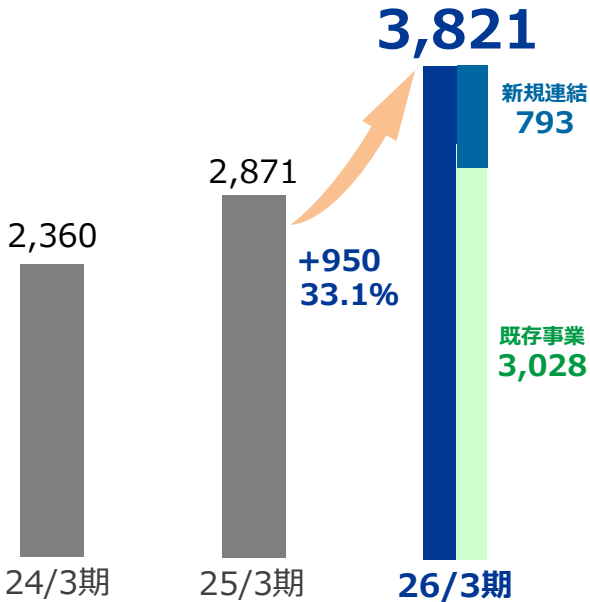
ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -1-

売上高 前期比33.1%増 セグメント利益 前期比6.3%増

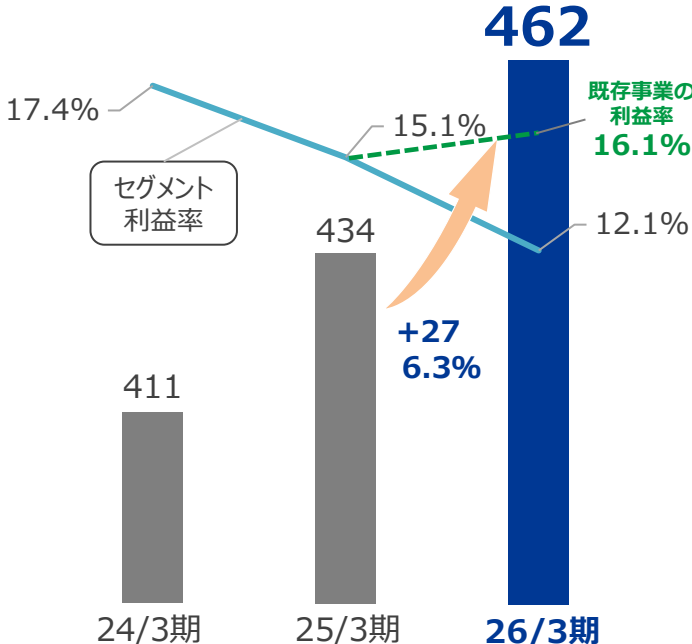
- 既存事業売上高は「FlexSim」の前期比減収もMastercam関連・PLMの下期重点施策で前期比増収
- 既存事業セグメント利益率 3Q累計:10.9% → 通期:16.1%に改善
- ES事業全体セグメント利益率 3Q累計: 7.4% → 通期:12.1%に改善 (前期15.1%)
- モアソンジャパンのCAD/CAM関連は、下期重点施策で収益改善傾向であるが更なる改善を実施中

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。
(各詳細は次ページ)

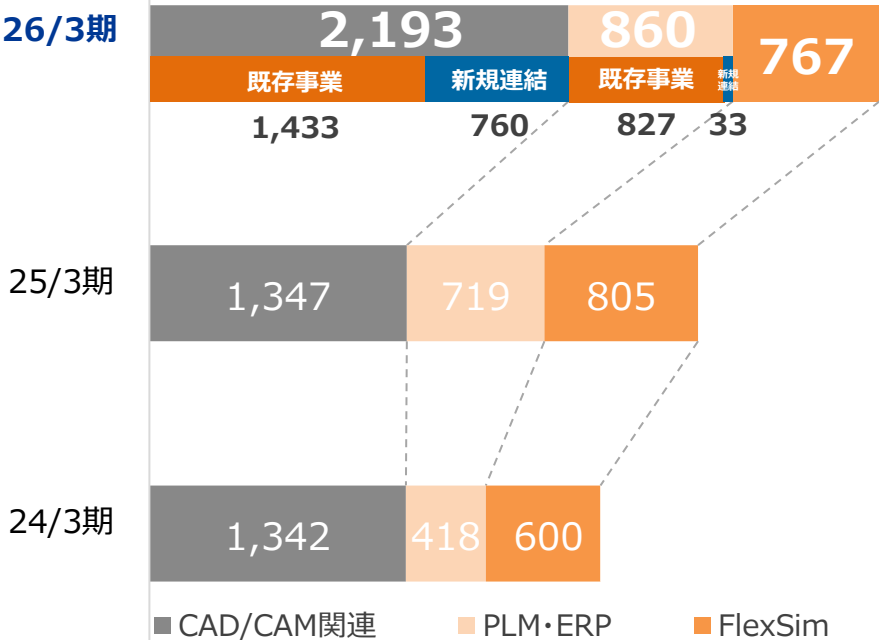
売上高
(百万円)



セグメント利益
(百万円)



売上高：分野別推移
(百万円)



※セグメント変更 (EVC関連開発をES事業からSS事業に変更)により、組換え後の数値で表記しております。

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -2-

売上高 前期比33.1%増 セグメント利益 前期比6.3%増

- 既存事業売上高は「FlexSim」の前期比減収もMastercam関連・PLMの下期重点施策で前期比増収
- 既存事業セグメント利益率 3Q累計:10.9% → 通期:16.1%に改善
- ES事業全体セグメント利益率 3Q累計: 7.4% → 通期:12.1%に改善 (前期15.1%)
- モアソンジャパンのCAD/CAM関連は、下期重点施策で収益改善傾向であるが更なる収益改善を実施中

※ 暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期各四半期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

FlexSim



: 第1四半期での前期比減収を通期でカバーできず前期比減収
主たる顧客である大手メーカーや物流企業に加え、準大手・中堅企業へ拡販中

CAD/CAMソフトウェア関連

既存事業



: 下期重点施策である当社の技術的知見を活かしたカスタマイズソフトウェア、アドオンソフトウェア、エンジニアリングサービス等の技術サービスの売上増加に加え、メンテナンスキャンペーンで増収

新規連結効果

: モアソンジャパンのCAD/CAM関連売上高

PLM・ERP



: 既存案件の開発継続に加え、大手SIerとの連携強化による案件増加、子会社フラッシュシステムズ(※)の新規連結効果などで増収

※2026年1月1日 吸収合併済み

GPS事業

売上高 前期比25.2%減 セグメント利益 前期比79.5%減

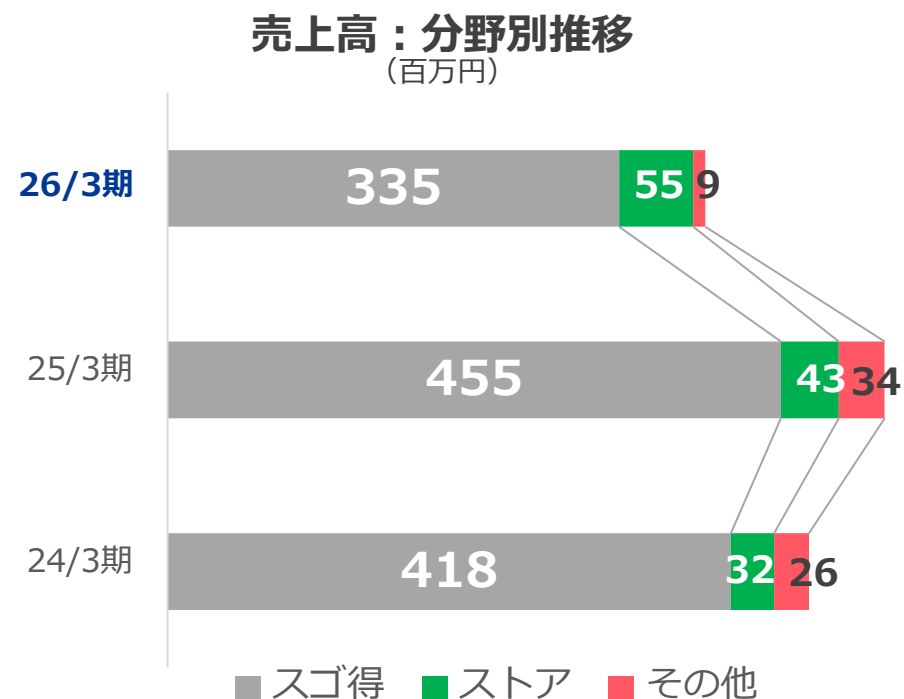
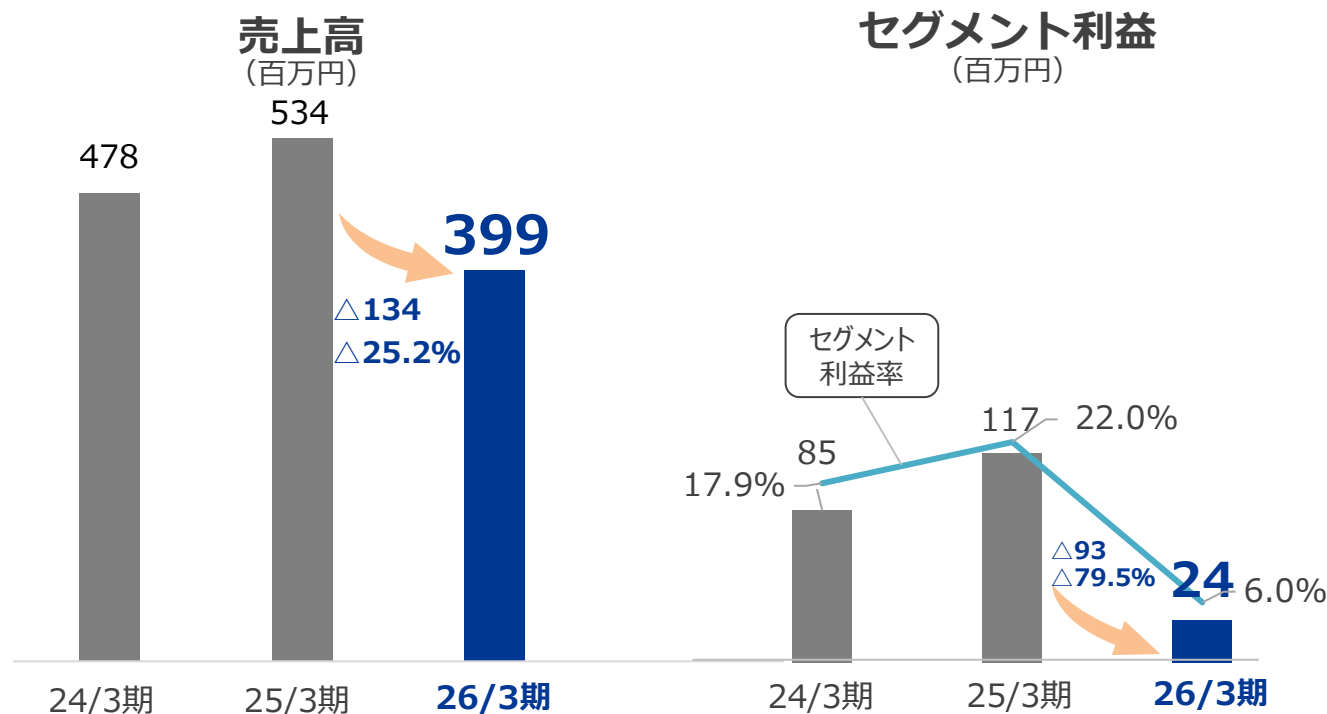
■新アプリ『ココダヨ Life』の提供開始、防災・防犯・見守り機能および多言語に対応し、サービスを拡充

- ・ストア(App Store、Google Play)向けの売上は順調に増加し増収
- ・NTTドコモ「dバリューパス(旧スゴ得コンテンツ)」向け売上『ココダヨ』に適用されるレベニューシェア(※)の

低下が今期を通じて減収

(※ サービス全体の収益をアプリ提供事業者間で分配する仕組み)

災害時位置情報受信アプリ



2026年3月期 財政状態および株主還元

連結貸借対照表 前期末比較

(百万円)		2025年3月期 期末	2026年3月期 期末	増減	増減の 主な理由
資産の部	流動資産	4,620	4,490	△129	現金及び預金△388 売掛金+281
	固定資産	2,529	2,421	△107	のれん△133 顧客関連資産△21
合計		7,149	6,912	△237	
負債の部	流動負債	3,333	3,017	△316	未払金△337
	固定負債	1,411	1,167	△244	長期借入金△257
合計		4,745	4,185	△560	
純資産の部	資本金	379	388	+9	
	資本剰余金	517	528	+11	
	利益剰余金	1,508	1,811	+303	親会社株主に帰属する 当期純利益+510 配当金支払による利益剰余金△207
合計		2,403	2,726	+323	
負債・純資産合計		7,149	6,912	△237	

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、第3四半期までの無形固定資産の「のれん」を「のれん」と「顧客関連資産」に識別し、2026年3月期の金額を確定処理後の金額に更新しております。

連結キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2025年3月期 期末	2026年3月期 期末	増減	増減の 主な理由
営業活動によるCF (A)	451	112	△338	税金等調整前当期純利益+826 減価償却費+89 のれん償却額+133 顧客関連資産償却額+21 売上債権及び契約資産△333 未払金△356 法人税等支払額△303
投資活動によるCF (B)	△388	△47	+340	有形固定資産取得△65 無形固定資産取得△55 定期預金払戻+54 保険積立金払戻+31
フリーキャッシュフロー (A+B)	62	64	+2	
財務活動によるCF (C)	655	△398	△1,054	長期借入金△290 配当金支払額△207 短期借入金+100
現金及び現金同等物の増減 (A+B+C)	718	△334	△1,052	
現金及び現金同等物の期末残高	1,886	1,552	△334	

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、第3四半期までの無形固定資産の「のれん」を「のれん」と「顧客関連資産」に識別し、2026年3月期の金額を確定処理後の金額に更新しております。

2026年3月期 株主還元

■ 業績予想を上回ったことに伴い、
期末配当を1株当たり2.50円増額し14.00円に増配、年間配当22.00円

配当方針

- 事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、内部留保と配当のバランスを考えた利益配分を行う
- 2026年3月期までを目安として当面の間、中間配当および期末配当の年2回、連結配当性向50%程度を目途に実施

	配 当		
	中間配当	期末配当	合計
2025年3月期（実績）	8.00円	10.00円	18.00円
2026年3月期	8.00円	14.00円	22.00円

2027年3月期 業績予想および株主還元

2027年3月期 業績予想

売上： 新中計「事業成長戦略」「経営基盤戦略」各施策実施 **：前期比増収見込み**
利益： システム開発、「FlexSim」の減収による減益、先行投資 **：前期比減益見込み**

- SS事業システム開発 主要顧客の一時的な生産調整、ES事業「FlexSim」サブスクリプションライセンス一本化での減収減益
 - 営業強化・人材投資等の**経営基盤強化・研究開発等の先行投資実施**
- ⇒ 売上総利益は前期比増収で増加するものの、先行投資等による販管費増加で前期比減益

業績の下期偏重について

- 売上：各事業の需要動向が期末に集中する傾向、下期からの新卒者戦力化 等
- 利益：売上の期末集中、各種先行投資を期初から実施 等

金額単位：百万円

	2026年3月期			2027年3月期								
	上期	下期	通期	上期予想	前期比		下期予想	前期比		通期予想	前期比	
売上高	5,110	5,872	10,983	5,470	359	7.0%	6,030	157	2.7%	11,500	516	4.7%
営業利益	157	663	820	80	△77	△49.1%	620	△43	△6.5%	700	△120	△14.7%
営業利益率	3.1%	11.3%	7.5%	1.5%	△1.6p	-	10.3%	△1.0p	-	6.1%	△1.4p	-
経常利益	163	660	824	65	△98	△60.1%	594	△66	△10.1%	659	△165	△20.0%
経常利益率	3.2%	11.3%	7.5%	1.2%	△2.0p	-	9.9%	△1.4p	-	5.7%	△1.8p	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	416	510	30	△63	△67.9%	334	△81	△19.5%	365	△145	△28.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	1.8%	7.1%	4.6%	0.6%	△1.3p	-	5.6%	△1.5p	-	3.2%	△1.5p	-

※当社グループは、顧客の需要動向により期末に売上が集中する傾向があります。

※暫定処理をしていたモアソンジャパンの「のれん」会計処理が2026年3月期末に確定したことに伴い、2026年3月期上期・下期の利益額を確定処理後の金額に更新しております。

2027年3月期 業績予想 -セグメント別売上高-

SS事業、ES事業ともに新中計「事業成長戦略」各施策実施により増収見込み

金額単位：百万円

	2026年3月期	2027年3月期		
	通期	通期予想	前期比	
SS事業	6,798	7,070	271	4.0%
ES事業	3,821	4,130	307	8.0%
その他	362	300	△62	17.2%
連結合計	10,983	11,500	516	4.7%

売上高見通し

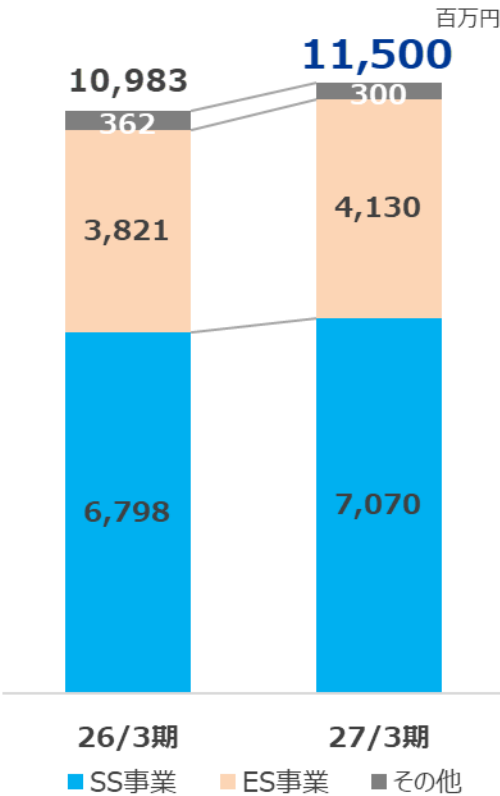
■システムソリューション事業

システム開発 主要顧客の一時的な生産調整も、ソフトウェア開発でのオートモーティブをはじめとした既存領域の拡大、上流工程への展開、システム開発でのエッジコンピューティング、FPGAを核とした「事業領域の拡大と収益力強化」に取組み、前期比増収見込み

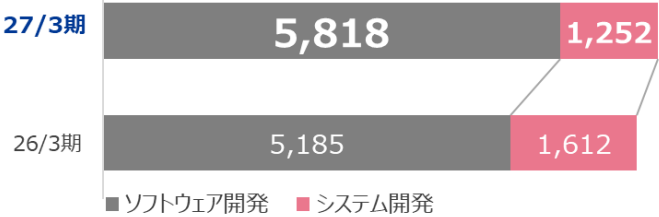
■エンジニアリングソリューション事業

「FlexSim」サブスクリプションライセンス一本化も、CAD/CAM関連・PLM関連における当社グループの強みである「コンサル・技術サービス強化」に取組み、前期比増収見込み

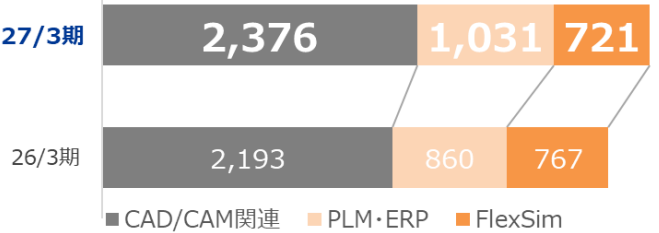
事業別 売上高予想



SS事業 売上高予想：分野別推移
(百万円)



ES事業 売上高予想：分野別推移
(百万円)



FlexSim ライセンス販売形態一本化



3次元シミュレーションソフトウェア「FlexSim」の開発元FlexSim Software Products, Inc.での販売方針にもとづき、「FlexSim」のライセンス販売形態を一本化

【変更点】

2026年3月まで：永久ライセンス版(※1)とサブスクリプションライセンス版(※2)の併売

2026年4月以降：サブスクリプションライセンス版に一本化

(※1 買い切り型ライセンス ※2 期間利用型ライセンス)

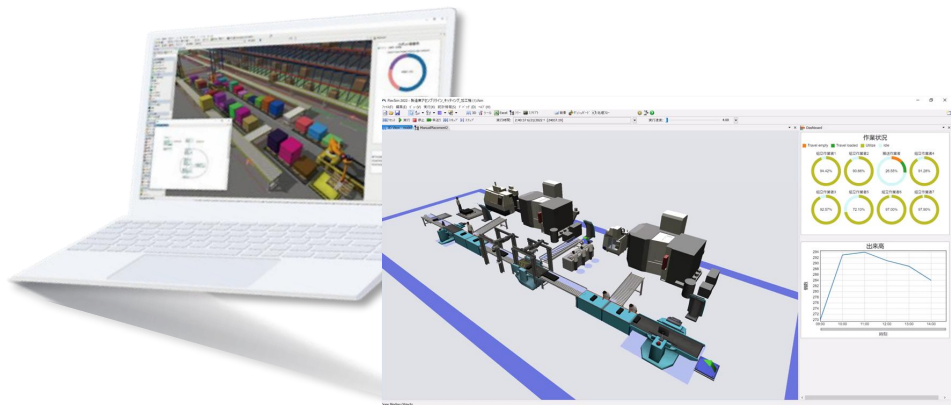
■サブスクリプションライセンス一本化による当社の収益影響について

サブスクリプションライセンスは、契約継続を前提に収益が積み上がる点でストック性の高い販売形態であり、売り切り型の永久ライセンスに比して、一時的に減収となると見込んでおります。

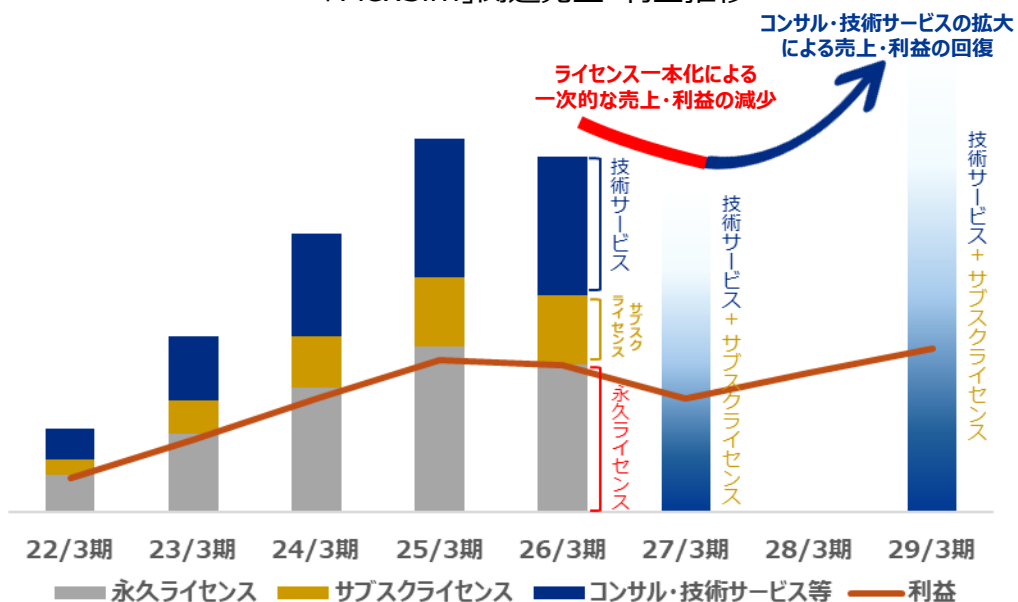
27/3期のライセンス売上は前期比減収となる見込みではありますが、

当社だけが提供できる以下の「コンサル・技術サービス」を拡大し、売上・利益の回復を図ってまいります。

- 大手顧客でのコスト削減・生産性向上実績を準大手・中堅企業に展開
- 物流業界での人手不足対策ソリューションの開発と提供



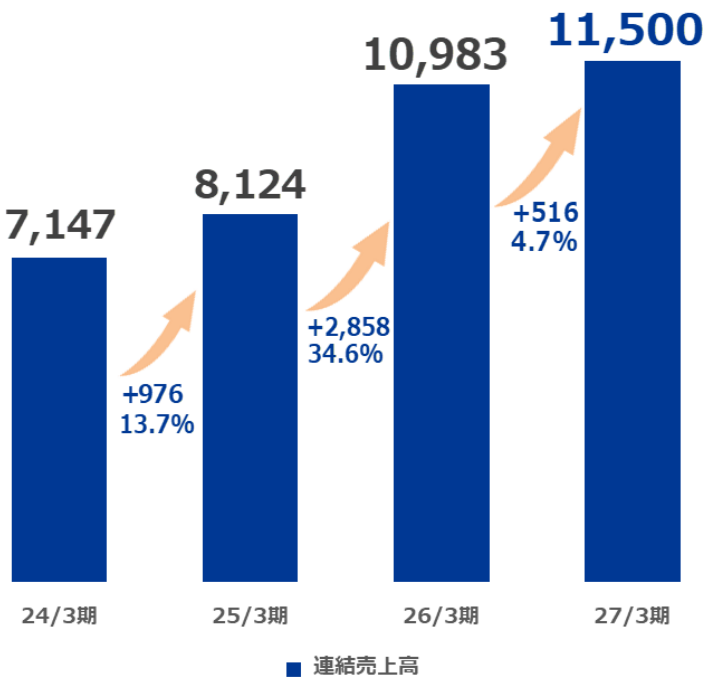
「FlexSim」関連売上・利益推移



2024年3月期～2027年3月期 通期業績推移

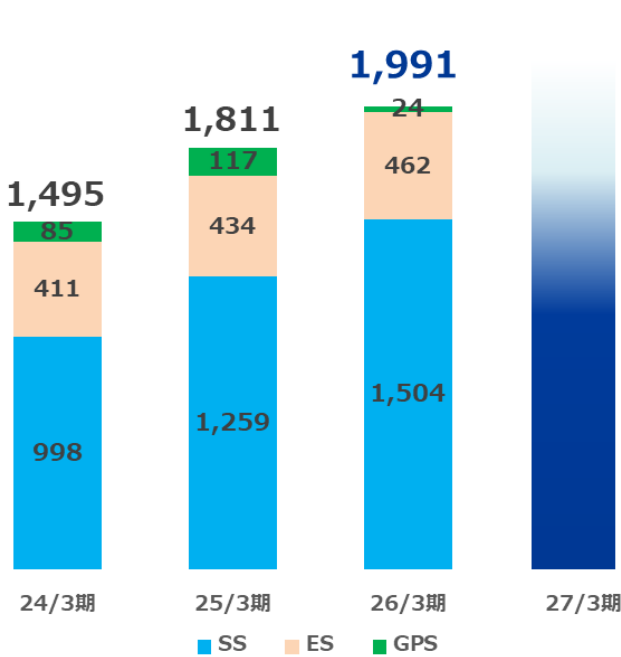
24/3期-27/3期 連結 売上高推移

百万円



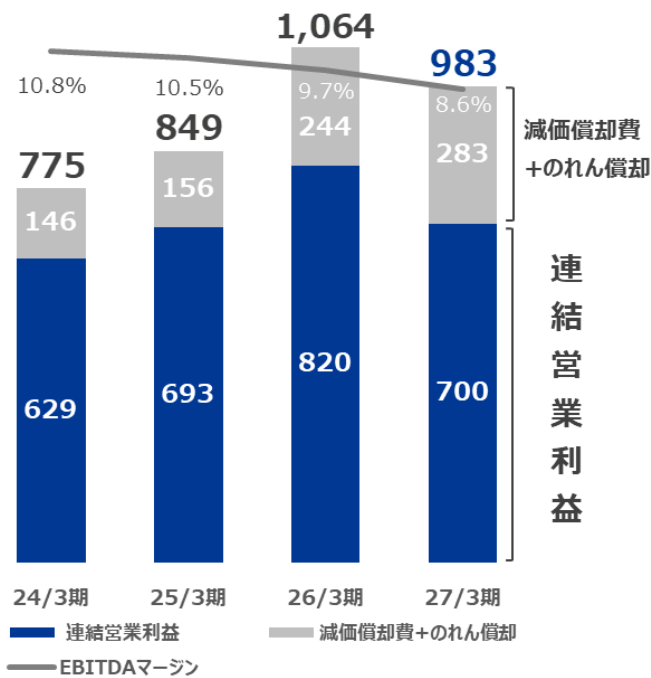
24/3期-27/3期 セグメント利益推移

百万円



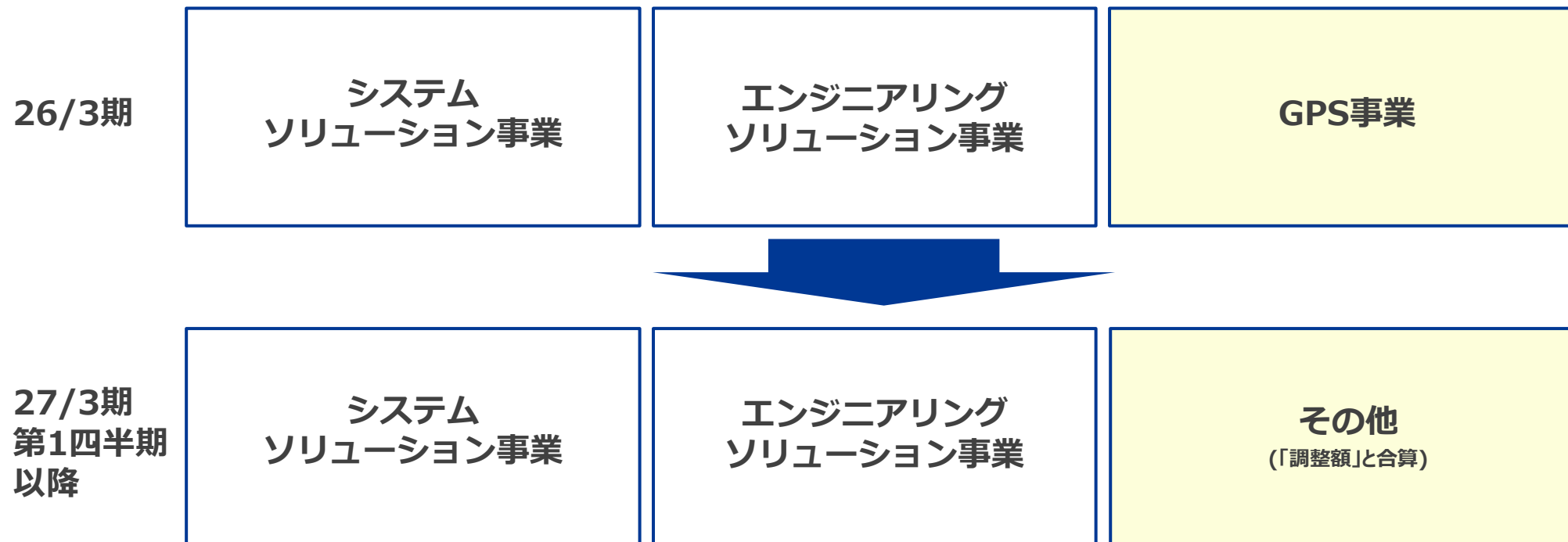
24/3期-27/3期 連結営業利益とEBITDA

百万円



報告セグメントの一部変更

GPS事業は、
企業会計基準第17号「セグメント情報等の開示に関する基準」第11項 集約基準および第12項 量的基準に該当するものとなったため、
2027年3月期第1四半期から「調整額」と合算し「その他」に報告セグメントを変更



2027年3月期 株主還元

株主還元方針

- 株主の皆様への利益還元が経営上の最重要課題のひとつ
- 事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、財務の安定性と資本効率のバランスを重視し、持続的な成長に向けた投資とのバランスを図る
- 中間配当および期末配当の年2回の配当を実施

配当方針の変更

変更前(2024年3月期～2026年3月期)	変更後(2027年3月期～2029年3月期)
■ 事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、内部留保と配当のバランスを考えた利益配分を行う ■ 2026年3月期までを目安として当面の間、 中間配当および期末配当の年2回、連結配当性向50%程度を目途に実施	■ 事業環境や財政状況、経営成績を考慮のうえ、財務の安定性と資本効率のバランスを重視し、持続的な成長に向けた投資とのバランスを図る ■ 中期経営計画期間(2027年3月期～2029年3月期)における利益配分は、 将来の事業拡大や収益拡大を図るための資金需要および財務の健全性を考慮したうえで、 連結配当性向40%を目安とする

配 当			
	中間配当	期末配当	合計
2026年 3 月期	8.00円	14.00円	22.00円
2027年3月期 (予想)	5.00円	7.50円	12.50円

トピックス

PLM導入を成功に導く業務診断サービス「AssessA SCAN」 提供開始

製造業のDXの課題を解決する新しいアプローチ

業務診断サービス「**AssessA SCAN**(アセッサスキャン)」 2026年3月2日より提供開始

サービス概要

■ データ一元管理で経営状況の可視化をリアルタイムで実現

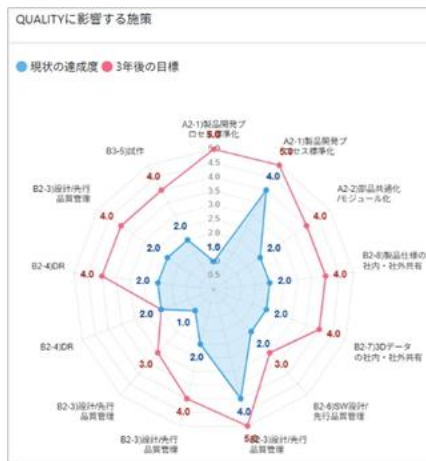
PLM導入の可否判断から、導入前に解決すべき課題である
「**優先順位とスコープ**」を明確にする業務診断サービス

AssessA SCAN 問診画面イメージ



AssessA SCAN 問診画面イメージ。画面には「1.業務プロセス」に関する質問があり、レベル1からレベル5までの診断結果が示されています。レベル1は「設計情報の検索は人的で、明確な検索手順やツールが存在しない。必要な情報の所在が不明確で、探し出すのに数時間以上かかることもある。」、レベル2は「情報検索手順は一部整備されているが、運用が徹底されておらず、検索結果の信頼性や精度に課題がある。社内オンライン検索は可能だが、最新情報の特定に平日程度かかることが多い。」、レベル3は「情報検索手順が初歩化され、社内でのオンライン検索が適切に運用されている。設計者が必要な情報に短時間でアクセスできる環境が整っている。」、レベル4は「情報検索手順が定着し、社内での情報（例：技術資料、規格、部品情報）をWeb経由で検索可能。検索精度や時間が定量的に評価され、継続的な改善が行われている。」、レベル5は「情報検索手順が定着し、社外からもWeb経由で検索可能。さらに、クレーン・不良品対応などの品質情報が設計部門にフィードバックされ、検索対象として統合されている。検索結果は設計判断や改善活動に活用されている。」と説明されています。

診断結果レポートイメージ



業務・組織・IT環境の現状を短期間で可視化

独自の診断手法により約10 営業日の短期間で、「業務・組織・IT 環境」の3つの視点で分析。
解決すべき業務課題の重要度や優先度を可視化。

数値による判断が可能

ヒアリング結果をスコア化して提示。
「なんとなく必要」という曖昧な状態を脱し、経営層が投資対効果を判断するための具体的な材料を提供。

中立的な立場からの診断

PLM導入が前提ではなく、お客さまの現状にPLMが適さない場合は、「導入しない」という判断も提示。
中立的な立場を生かした提案。

スマートフォン新アプリ『ココダヨ Life』 提供開始

「『もしも』に備えて、『いつも』を守る」をコンセプトに、
「つながる」「そなえる」「まもる」「でかける」4つを基本メニュー化。
防災・防犯・見守り、多言語対応 スマートフォンアプリ。2026年3月23日より提供開始

防災機能



緊急地震速報との連動により登録した方の位置情報を自動共有。
地震・津波・大雨などの災害情報もリアルタイムで通知。
ハザードマップ・避難所情報・地域の危険情報・天気情報をアプリ内で一元管理することが可能。

防犯機能



地域の危険情報(クマや動物の出没情報、不審者情報)を通知。
防犯ブザー・緊急通報機能も搭載。
外出時・通学時の安全も確保。



「もしも」に備えて、「いつも」を守る。

ココダヨ Life

見守り機能



iOS では生体情報(移動経路などのヘルスケア情報)の共有機能を搭載。
離れて暮らす高齢の家族の日常的な状況把握、子どもの登下校・外出時の位置確認など、家族構成に応じた見守りに活用可能。

多言語対応



日本語・英語・中国語(繁体字)に対応。
アプリ内の言語設定を変更することで『ココダヨ Life』の言語が切り替えが可能。



えるぼし認定

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく
「えるぼし認定」最高位(3つ星)を取得



「えるぼし認定」:

女性活躍推進法に基づき、女性の活躍に関する
取組みが優良な企業を厚生労働大臣が認定する
制度

当社の取組み

当社は創業以来、人材の拡充・高度化を掲げ、働きやすさと働きがいの両立を推進しています

- ・多様な人材が活躍できる職場環境の整備
- ・業務プロセスの効率化によりすべての職種で時間外労働を毎月平均45時間未満
- ・公正な評価・登用制度の運用、育児・介護休業制度の個別周知 など

「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」
すべての基準を満たす 最高位(3つ星)認定

今後の取組み

当社はこの認定取得を一つの通過点と捉え、引き続き女性をはじめ多様な人材が活躍できる環境づくりを推進し、一人ひとりが能力を発揮できる職場の実現に取り組んでまいります

News Release (2026年1月1日-3月31日)

日付	分類	タイトル
2026年1月30日	PR情報	SAP S/4HANA Cloud で経営基盤のデジタルシステムを刷新し、業務改革を実現
2026年1月30日	PR情報	当社に関する一部報道について
2026年2月13日	決算	2026年3月期 第3四半期決算短信
2026年2月13日	適時開示	2026年3月期 第3四半期決算説明資料
2026年2月18日	PR情報	MetCom、浜松市と共同で「防災・減災×サステナブル大賞2026」奨励賞を受賞
2026年2月26日	適時開示	組織変更および役員人事に関するお知らせ
2026年2月27日	PR情報	PLM導入を成功に導く業務診断サービス「AssessA SCAN」提供開始
2026年3月19日	PR情報	女性活躍推進企業として「えるぼし認定」最高位(3つ星)を取得
2026年3月26日	PR情報	スマートフォン新アプリ『ココダヨ Life』提供開始

当社事業のご紹介

社会的課題の解決への挑戦と実現

技術・開発力に裏打ちされたソリューションで、社会的課題の解決に挑戦し、実現します。

実現すること

日本のものづくりの復活・脱炭素の実現

安心・安全な暮らしの実現

生み出す
効果

品質向上

付加価値向上

生産性向上

安全性向上

もたらす
革新

デジタル化社会
を支える
高難度な装置開発

モビリティ変革
を支える
自動車の高性能化

AV/エレクトロニクス機器
の高機能化

製品情報
の一元管理

高性能な製品の
設計・製造

設備全体の
モニタリング

経営情報
の一元管理

作業者の
安全管理

製造・物流現場の
最適化

物流の
リアルタイム追跡

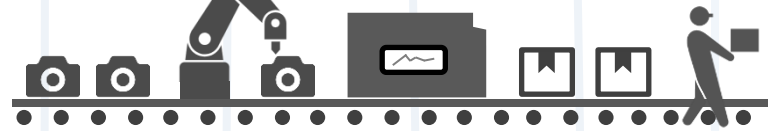
サービス施設の
最適化

災害時位置情報
の自動通知

取組む
DX領域



製品開発



製造／物流



暮らし・個人

当社が持つ
ソリューション

半導体製造装置
開発

自動車関連
開発

AV/エレクトロニクス
開発

PLM



3D
CAD/CAM
MASTERCAM
VISUAL
COMPONENTS

IoT



ERP



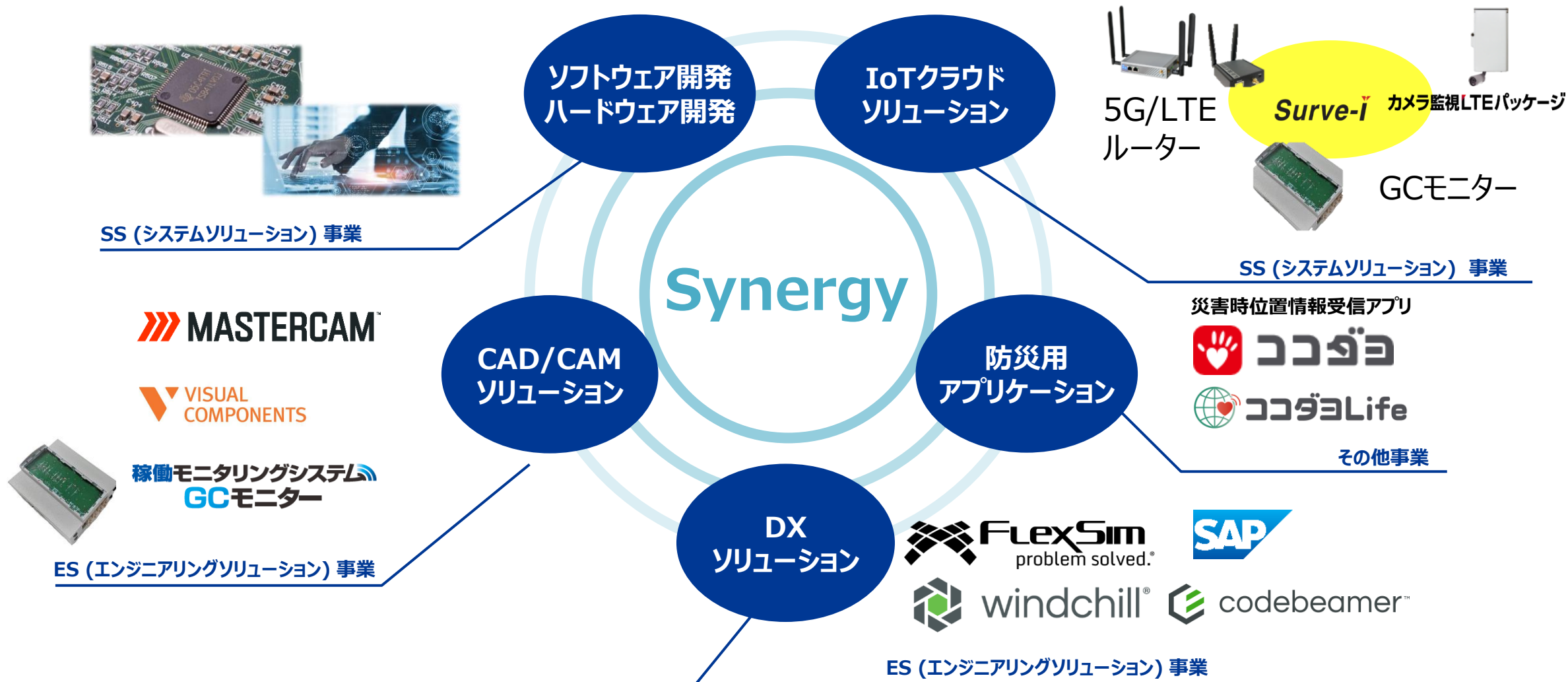
デジタルツイン&
3Dシミュレーション
FlexSim
problem solved.

位置情報
サービス
ココロ
ココロLife

ソフトウェア開発×ハードウェア開発×AI

当社の事業

卓越した技術力でお客様のソリューション・パートナーを目指します。



SS (システムソリューション) 事業 -車載系開発実績-



ナビゲーション/ディスプレイオーディオ/RSE

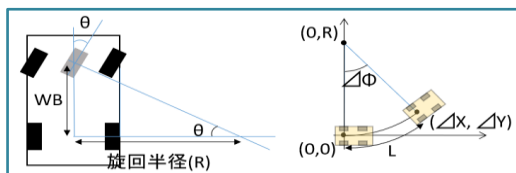
- ・地図描画
- ・VICS
- ・オーディオ(USB、CD、AUX)、ラジオ
- ・Bluetooth各種プロファイル
- ・スマートフォン連携(iPhone/Android)
- ・テレマティクス



ヘッドアップディスプレイ

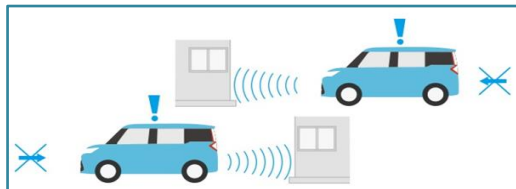
様々な形態のモデルを開発

- ・ウインドシールド投写型
- ・可倒式コンバイナ型



メーター

- ・海外、国内の複数メーカーの電子メーターを開発
- ・CGI Studioを利用したHMI描画のアーキ設計・実装
- ・APTJ製AUTOSARを使用したCAN機能、診断機能



自動駐車制御・ソナー制御等ECU開発

- ・ソナーのノイズ除去
- ・ステアリング角度と車速パルスから自車位置推定
- ・空間推定と経路設定/追従
- ・障害物検知
- ・誤発進防止、ブザー鳴動

SS (システムソリューション) 事業 -デジタル家電開発実績-



項目	内容
開発プロダクト	Android TV
開発機能	・ネットワーク機能(無線LAN/有線LAN) ・動画/音楽再生機能 ・外部機器との連携機能 ・USBストレージ制御機能 ・自動評価システム

項目	内容
開発プロダクト	業務カメラ
開発機能	・OS/ドライバー ・ファームウェアアップデート ・電源制御 ・リチウムイオンバッテリー規格

項目	内容
開発プロダクト	デジタル一眼レフレンズ開発
開発機能	・レンズ基板設計(*Hardware) ・レンズ評価用治具(擬似BODY)開発(HW & SW) ・フォーカス、手振れ補正、ズームの機能開発

SS (システムソリューション) 事業 -ハードウェア開発実績 システム/回路設計-

- ◆ARMなど各種組み込みマイコン応用機器
- ◆CPU・FPGA・高速IFを組み合わせた搭載ボードの開発
- ◆高速信号の波形信頼性評価
- ◆ラズパイや評価ボードを使用した試作、先行開発

CPU	高速IF	ツール	製品 他 開発実績
主要ARM系 ・i.MXシリーズ ・STM32シリーズ ・RZシリーズ その他 FPGA内蔵コア ・Zynq、Stratix10等	DDR4 USB3.0 PCIe Gen2 HDMI SFP+,QSFP	OrCAD CR8000 LtSpice LabView	・IoT機器/装置開発 - 稼働監視ソリューション - 監視カメラソリューション ・医療系分析装置開発 ・半導体製造装置 ・業務用/デジタルフォトプリンタ ・遊技機器/ホール系開発 ・車載/船舶系 制御機器開発 ・超高画素カメラ、映像系ボード開発 ・AGV/多関節ロボット 制御装置開発
基板設計			
インピーダンスマッチング 高速伝送線路シミュレーション EMIシミュレーション			

SS (システムソリューション) 事業 -ハードウェア開発実績 ASIC・FPGA設計-

- ◆ASIC・FPGA・PLDの開発・設計
- ◆仕様検討からRTL設計、実機検証まで

設計言語	検証	開発実績
Verilog VHDL System Verilog 高位合成(VivadoHLS)	期待値照合 アサーション検証 ランダム検証 検証メソドロジ(UVM) カバレッジ(コード/機能)	・CPU向けイメージセンサIF変換 ・イメージセンサ向け画像処理(ISP) ・複写機ヘッダ向け画像処理 ・産業用高速データ転送装置(PCIe,GbE,USB3.0等) ・Ethernetパケット処理 ・モーター向けエンコーダー処理(Biss-C) ・特殊シリアル通信IF変換 ・SoC(AMD/Intel)を使用した産業用計測器 ・半導体製造装置 ・ASIC検証向けUVM検証環境構築
デバイス/ツール		高速差動通信、PCIe、DDR4、AXIバスなどIP実績も多数
デバイス実績 ・Intel(ALTERA) Stratix10、Arria10SoC、他 ・AMD(Xilinx) Virtex、Kintex、Spartan、Zynq、他 ・Lattice XO2/3、CrossLink ・microchip IGLOO-nano ・Efinix Trion 使用ツール ・ASIC向け : VCS / NC-Verilog ・FPGA向け : ModelSim / Vivado / ISE / Quartus / Diaomnd /Radiant		

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -3次元CAD/CAMソリューション-

当社は1990年から35年にわたりMastercamの代理店として、

Mastercamおよび周辺ソフトウェアの輸入販売だけでなく、ローカライズ、オリジナル教材の作成、コンサルティング、サポートなど、多岐にわたるサービスを日本国内および海外日本法人のユーザー様 数千社にご提供し続けています。



部品加工・金型製作問わず、
世界で数多く使用されている
3次元CAD/CAMソフト

産業・教育の両分野で全世界トップの導入実績

豊富な工作機械の稼働実績

統一された操作性

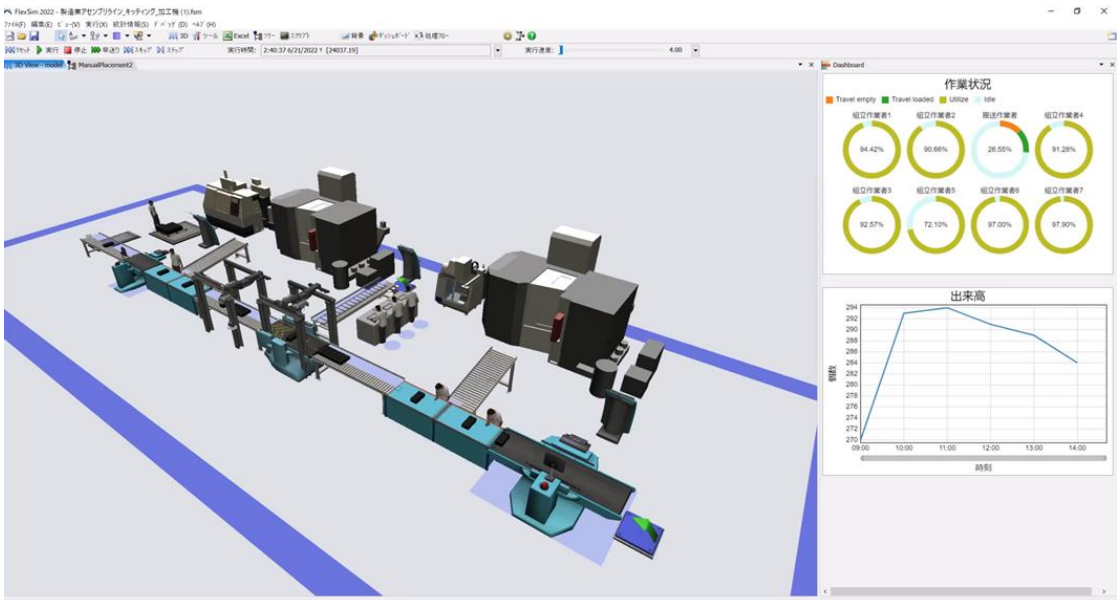
柔軟なトランスレータ

オールラウンドな多機能性

導入しやすい価格体系



ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -3次元シミュレーションツール-



FlexSimは製造ラインや物流倉庫などをデジタルツインで構築し、全体最適を図ることができる3次元シミュレーションツール

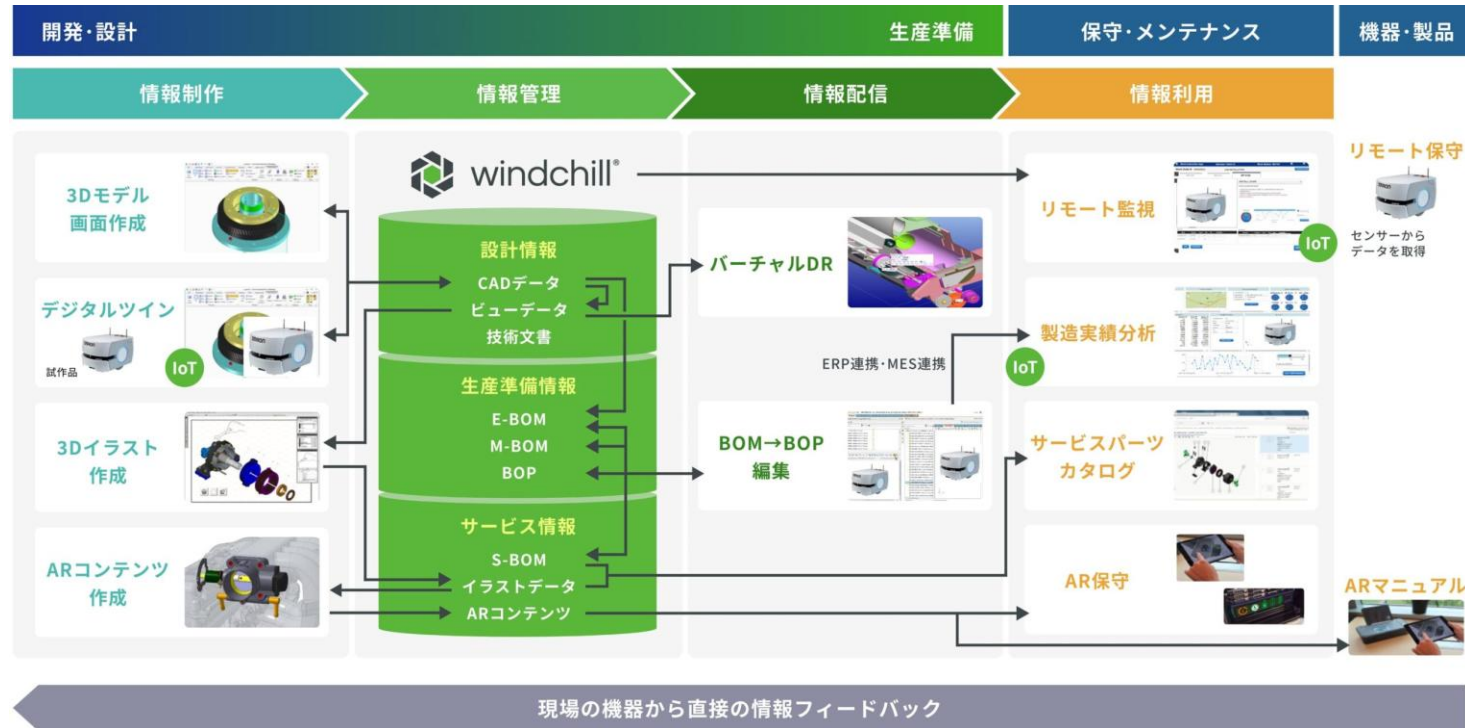
簡単操作で既存・新規の工場、倉庫に機器を配置。ヒト・モノの流れを計算して最適な人員の配置、機器の最適な台数を計算。
分かりやすい円グラフ、棒グラフ、ガントチャートをソフトウェアの中で表示し、工場を自動化する際の費用対効果を施工前に把握することができます。

3次元上に設定したシミュレーションモデルは、分かりやすいプレゼンテーション資料として利用することができます。
工作機械やマテハン機器などの形状は3次元CADやCGのモデルを読み込めるため、工場のレイアウトを確認することができます。

最新のVR機器にも対応しているため、あたかも現実の空間のように設計段階からレイアウトを実感確認できます。

	FlexSimの活用例
工場	工場生産ライン設計・生産スケジューリング・工場内物流
物流	倉庫レイアウト設計・拠点間配送プランニング
人の動き	作業員の適正配置・必要人数の算出
制御システム	時間内の生産個数
商業施設	人の動線・避難経路/避難時間

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -PLM(製品ライフサイクル管理)-



製品ライフサイクル全体を最適化する PLMソリューション

PLMは製品の企画・設計から製造、保守、廃棄に至るまでのライフサイクルをデジタル化し、一元管理します。これにより、部門や拠点を超えたリアルタイムな情報共有と効率的なコラボレーションが可能となり、製品開発のリードタイム短縮や品質向上、さらには迅速な意思決定を実現します。

当社ではPTC社製品「Windchill」を活用し、製品開発プロセスのDXと効率化を実現します。

当社の強み

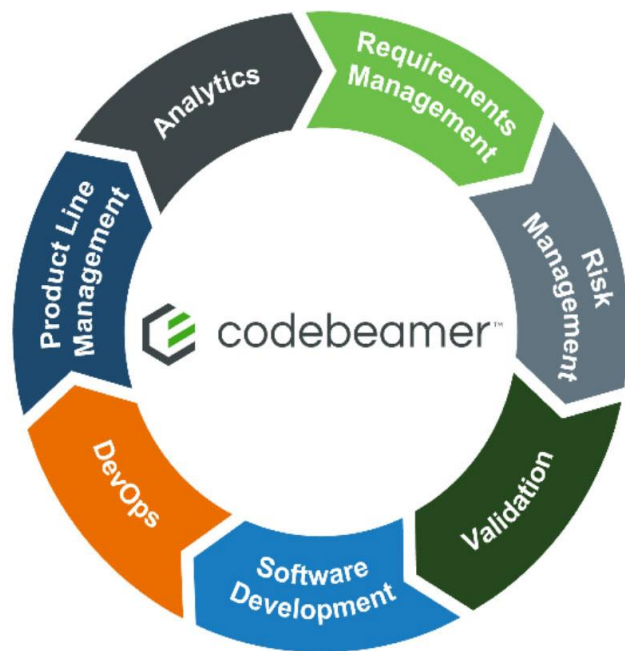
・豊富な導入・運用実績と人材

国内製造業への豊富なPLM導入・運用支援実績、Windchillに精通したPM、コンサルタント、技術者が多数在籍

・短期間で高品質な導入

Windchillの豊富な標準機能をパッケージ化した「クイックスタート」サービスにより、短期間で高品質なPLMシステムの導入を支援

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -ALM(アプリケーションライフサイクル管理)-



INTLAND
SOFTWARE



DIGITAL TRANSFORMS PHYSICAL

ソフトウェア開発の効率化と品質向上を実現するALMソリューション

ALMはソフトウェアの設計から開発、テスト、デプロイ、保守に至る全プロセスを一元管理するシステムです。

複雑化するソフトウェア開発においてCodebeamerは以下の課題を解決します。

- ・トレーサビリティの確保による開発効率/品質の向上
- ・開発案件間での資産共有と知的財産保護を同時に実現
- ・ツールチェーンの構築によるプロジェクト全体の可視化

当社はPTC社のCodebeamerを活用した効率的なALM導入を支援し、品質および開発スピード向上の両立を実現します。

当社の強み

- ・実際の「開発者の目線」で最先端のALMツールを提案し、技術サポートを提供
40年にわたる組込み開発の経験と、自動車・医療機器メーカーとの取引実績、実践的な技術コンサルティング力を活かしたサポート
- ・生成AIとCodebeamerを連携、ALMの効果を最大化
生成AIの活用によってガイドラインに基づく工程成果物を生成し、それらの情報をCodebeamerに自動で更新が可能

ES (エンジニアリングソリューション) 事業 -VCOLP(オフラインティーチングソフト)-



産業用ロボット向けオフラインティーチングソフト

オールインワン OLPソフトウェア



加工法を問わず

ロボット加工、溶接、塗装を一つのソフトウェアでティーチングします。



主要ロボットメーカーに対応

世界のトップロボットメーカー各社のプログラム言語に対応しています。



高速性・正確性・信頼性

使いやすいインターフェースで簡単にロボットをティーチングできます。



ノウハウの蓄積

ノウハウをソフトウェア内に蓄積することで、より高い品質のプログラムを作成できます。

組立て・ピッキング・溶接・研磨・トリミング・塗装などの工程を、ソフトウェア上で高精度に再現。お客さまニーズに対応したティーチングが可能

現場を止めてティーチングを行う必要がなく、
ロボットのティーチング時間を90%短縮

新世代の産業用ロボットのオフラインティーチングソフト

VISUAL COMPONENTS

VC Robotics OLP

What's Visual Components Robotics OLP?

VISUAL COMPONENTS Robotics OLPは産業用ロボットの加工プログラムを作成するオフラインティーチング(OLP)です。ロボットメーカーに対応する汎用性と優れたUIロボット運用を身近にする新世代のオフラインティーチングソフトウェアです。

- ティーチング時間を大幅に削減
- 複雑なプロセスを簡単に
- プログラムの問題点を検出
- ロボットティーチングを身近に

ティーチング時間 90%削減

*VC社調査データ

対応ロボットメーカー

ABB株式会社 ファナック株式会社 IGM ROBOTERSYSTEME AG KUKA AG 株式会社ダイヘン Reis Robotics GmbH & Co.KG 株式会社安川電機 CLOOS Robotic Welding, Inc. HYUNDAI ROBOTICS CO., Ltd. 川崎重工業株式会社 株式会社不二越 パナソニック株式会社 SIDA

GPS事業

『ココダヨ』：当社の特許技術をベースに開発した、世界初の防災用位置情報自動通知サービス

- 緊急地震速報に連動して、登録したメンバーの位置情報を自動通知します。
- 通信規制によって電話やメールの利用が困難になる前に、居場所と安否とを確認できます。
- 1ヶ月間ご家族で無料体験できますので、ぜひお試しください。



衛星一スマートフォン直接通信「au Starlink Direct」に対応



衛星一スマートフォン直接通信「docomo Starlink Direct」に対応



居場所が分かれば
家族は守れる。



ココダヨ

災害時
位置情報受信アプリ

「ココダヨ」は株式会社ゼネテックが提供する、
自社特許技術をベースに開発した防災・見守りアプリです。

<https://www.cocodayo.jp>



191万
ダウンロード突破
2026年3月末時点



GPS事業

『ココダヨ Life』：防災・防犯・見守り、多言語に対応したサービス

- 「つながる」 お子様や高齢者の方の位置情報、行動を見守り、生体情報とも連携しながら、日常のリスクを見守ります。
- 「そなえる」 地震、津波、台風、水害などの情報取得、避難所情報やハザードマップなどをまとめた防災マップで自然災害にリスクに備えます。
- 「まもる」 緊急地震速報の取得、避難所への経路案内、不審者情報など突発的なリスクに対応します。



その他の特徴



ココダヨ Lifeの機能紹介はこちら >



「もしも」に備えて、「いつも」を守る。
ココダヨ Life



<https://www.cocodayo.jp/life>

モアソンジャパンとのシナジー効果



株式会社ゼネテック

【拠点】 東京、大阪、名古屋、神奈川、広島、福岡

顧客基盤

開発リソース

ソリューション



株式会社モアソンジャパン

【拠点】 静岡(浜松・静岡)、名古屋、東京、大阪

顧客基盤

開発リソース

ソリューション



シナジー創出

両社の顧客基盤・開発リソース・ソリューションを活用

- ・東海エリアでの事業拡大
- ・東京・名古屋・大阪の各拠点での連携強化
- ・ソフトウェア開発およびソリューション提供を拡大



モアソンジャパン事業内容および開発実績

開発内容

開発実績

組み込みソフトウェア 開発	- ファームウェア、ミドルウェア開発 - ドライバ開発（デバイス・通信など） - DSPマイクロプログラム開発		- デジタル楽器、音響機器などのファームウェア - カーナビゲーション組み込み開発
CAD/CAM ソリューション	- CAD/CAM/CAE関連製品の販売 - PDM関連製品の個別開発	- 計測プログラミング-シミュレーション - MSM Report 計測データ帳票作成	
ビジネスアプリケー ション開発	- ビジネスアプリケーションの開発全般 - IT基盤構築の設計、構築、評価 - 技術者のアウトソーシングサービス		- 生産管理システム - 品質管理システム - 物流管理システム
医療・ヘルスケア向 けソフトウェア開発	医療、ヘルスケア系ソフトウェアの共同研究開発	- 透析治療管理アプリ“DialysisDiary” - 医療施設用待ち順番表示システム	
エンジニアリング系 アプリケーション 開発	PC、スマート端末、WindowsからiOS/Android、 LINUX、RTOSなど、様々なOS上で動作するアプ リケーション開発		- スマートデバイス用アプリ - 簡易3DCAD支援システム
放送向けソフトウェ ア開発	ラジオ放送業務専用のシステム開発	- スタジオ再生／収録システム CLASS-PAD - BWF-J対応マルチトラック波形編集 アプリケーション PREBiEW	

会社概要

会社概要

会社名	株式会社ゼネテック		
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー25F		
代表者	代表取締役社長 上野 憲二		
設立日	1985年7月1日		
決算月	3月		
資本金	3億8,891万円（2026年3月31日現在）		
役員	代表取締役社長	社 長 執 行 役 員	上 野 憲 二
	取 締 役	副社長執行役員	鈴 木 章 浩
	取 締 役	専 務 執 行 役 員	末 永 司
	取 締 役	常 務 執 行 役 員	上 野 大 輔
	取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	八 戸 雅 利
	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	田 中 俊 平
	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	水 谷 翠
従業員数(連結)	社 外 取 締 役	（ 監 査 等 委 員 ）	白 上 博 能
	684名（2026年4月1日現在）		

会計監査法人	太陽有限責任監査法人
子会社	株式会社モアソンジャパン
拠点	本社・新宿事業所・新横浜事業所・名古屋事業所・大阪事業所・広島事業所・福岡事業所
事業内容	■システムソリューション事業 ソフトウェア開発、ハードウェア開発 ■エンジニアリングソリューション事業 CAD/CAM関連 3Dシミュレーションソフト 製品ライフサイクルマネジメントソフト等販売・ソリューション提供 ERP導入支援 ■その他事業 防災用アプリケーション開発提供
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場

当社グループの拠点



サステナビリティ(ESG/SDGs)

事業を通じた社会貢献



寄与項目

当社事業・商材

E 環境

環境保護と持続可能な産業の発展

地球環境を守りながら持続可能な産業の発展を支える取組みを推進。

特に、製造業と物流のデジタル化を推進し、エネルギー効率を高め、CO2排出量の削減に貢献。

■ デジタルツイン技術

デジタルツイン技術を製造業や物流倉庫に導入し、生産性向上とコスト削減を実現。シミュレーションによる最適化を通じて、エネルギー効率を高め、CO2排出量を削減しています。

■ 企業価値の最大化と環境への配慮

国内におけるCO2総排出量の35%を占める製造業。当社はデジタルソリューションにより、これら製造業における環境負荷の低減を図りつつ、企業価値の最大化に貢献します。



など



S 社会

人々の生活の質向上と安全を守る

社会的な責任を果たすために、安全で豊かな社会の実現に向けた取組みを進めています。特に、災害時の安全確保や、若手技術者の育成を通じて、社会貢献を果たしています。

■ 災害時位置情報共有アプリ『ココダヨ』・『ココダヨ Life』

災害時や見まもり時の安否確認をサポートするアプリ『ココダヨ』を提供。緊急地震速報と連動し、家族や大切な人の位置情報を自動通知する機能を持つこのアプリは、社会的安心を提供しています。



企業活動を通じた社会貢献



当社施策

S 社会

教育・研修制度

幅広い研修制度で、エンジニアの技術習得をバックアップ。エンジニアの成長を通じて、社会の発展に寄与。

女性活躍の推進

女性をはじめ多様な人材が能力を発揮できる職場環境の実現に向けて、女性の採用・定着・キャリア形成を支援する取組みを推進。女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」(3段階目・3つ星)を取得。

働きやすい職場環境の整備

育児・介護休業制度の周知や復職支援、雇用形態の転換制度など、社員一人ひとりがライフステージに応じて安心して働き続けられる制度の整備・運用。



G ガバナンス

透明で公正な企業運営

コーポレート・ガバナンスの維持・強化を通じて、株主、顧客、社員をはじめとするステークホルダーの皆様に対し、経営の健全性、透明性、遵法性と公平さを確保し、企業価値のいっそうの増大に努める。



当社の行動指針

Change — 変革 —

Challenge — 挑戦 —

Continue — 継続 —

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にもかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

お問合せ先 : IR@genetec.co.jp

